

講義名	中国語 B			授業形態	
担当教員	程 遠鏡	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生
			ナンバリング・コード	CHI122	

主題と概要

中国語を初めて学習する学生を対象としたクラスである。中国語の発音の基礎となるピンインの発音練習から始める。ピンインとは中国語の読みを表すもので日本語の振り仮名に相当するものである。中国語を学習する上で非常に重要であり、ピンインをマスターすることで、中国語を読んだり、正確で美しい発音ができるようになる。この授業では、ピンインをしっかりと学んだうえで、段階的に文法事項の学習を進める。基礎的な文法事項や会話表現を学び、簡単な文や挨拶ができるようになることを目指す。また、中国語の字音を通じて、中国語の社会や文化への理解を深め、楽しみながら異文化適応力や教養を身につけたい。

到達目標

(1) 中国語の発音の基礎となるピンインを学び、読みや発音ができる。(2) 学習した基礎的な文法事項を用いて簡単な短文を作ったり、簡単な挨拶ができる。(3) 中国語圏の文化に親しみ、異文化適応力や教養を身につけることができる。
中国語検定試験の準4級 - 4級レベルを目指す。

提出課題

授業でやり残した練習問題

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

中間試験は採点した上、解説し、返却する。

評価の基準

平常点（出席状況と授業中の取り組み）：30点
中間試験：30点
期末試験：40点

履修にあたっての注意・助言他

必ず教科書を購入してください。また毎回の授業時に教科書を持参した上、受講してください。授業中の取り組みとして評価の対象とする。授業計画は、学生の履修状況によって変更する場合がある。

教科書

.初級中国語 会話編 改訂版.	奥村佳代子 他	金星堂	2400+税	9784764707290
-----------------	---------	-----	--------	---------------

参考図書

.授業中で指示する。。

その他

授業計画

- オリエンテーションと第1課-第2課、発音練習：声調、単母音、複母音と子音
予習：教科書に目を通す。発音の音声を聴く(2時間) / 復習：発音のふり返り(2時間)
- 第3課-第4課、発音練習：子音の母音、鼻母音、声調変化、数の言い方
予習：教科書に目を通す。発音の音声を聴く(2時間) / 復習：発音のふり返り(2時間)
- 第5課、動詞述語文、疑問文1
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 第6課、3種類の疑問文と副詞
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 第7課、形容詞述語文と疑問文5
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 第8課、名詞述語文と比較文
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 第9課、連動文と介詞
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 復習と中間試験
予習：試験準備(4時間)
- 第10課、所在と存在を表す表現
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 第11課、結果補語と進行を表す表現
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 第12課、方位詞と助動詞
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 第13課、"把"構文と使役文
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- 第14課、受身文と状態補語
予習：教科書の単語・本文とポイントに目を通す。音声を聴く。(2時間) / 復習：本文の音読、残りの練習問題(2時間)
- これまでの内容の総復習
予習：試験準備(4時間)
- 復習と期末試験
予習：試験準備(4時間)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成業の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し、「コミュニケーション能力」の育成を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験なし。

備考